



相次いだ職員の不祥事 に対して市議会で決議

市の職員が相次いで略式起訴され懲戒処分をうけました。

この問題を女性議員で何度も話をしながら、女性が安心して仕事するためには、みんなが仕事しやすい風通しもいい職場が必要だよね、アクション起こそうという結論にいたり、動議を提出しました。

職員の安心安全の確保、再発防止計画の策定などを求める決議が議員の発議で11月定例会最終日に採択されました。

今議会では市の職員や議員の給与改定で若干の期末手当増が決まりました。今働く人の賃金を上げることはとても大切だと私は思います。

議員の期末手当増も兼業なしの現役世代議員もいる中、賛成をしました。市民の皆さんの税金で仕事をしていることを肝に銘じがります。



年が改まる今思うこと

戦後最悪の

大軍拡予算に反対します

閣議決定された来年度予算は5年間で43兆円の大軍拡戦争国家作り初年度予算です。

自衛隊の装備品までも建設国債で賄う↓国債で国民の財産をかき集めた戦前そのものです。

政治を変えないと私たちは幸せになれない

では10兆円を超える軍事費のために削られるのは何か。

● こども予算倍増はどこかに吹っ飛んだ

● 社会保障費は抑制され、年金や生活保護費など空前の物価高の中実質減額

● コロナ対応をするべき医療・介護にも抑制削減 自己負担増

怖いのはテレビ、新聞などのマスコミ報道がまるで大本営発表のように、批判もせず国の主張を垂れ流していることです。

エネルギー政策の大転換が勝手に決められているのもとんでもないです。福島事故に責任も取れないのに無責任に原発回帰はありえません。

・ 自国民を戦争に巻き込まない
・ 国民の命と暮らしを守る
・ 少子化を食い止め、持続可能な国づくりをする

そんな政治の転換をしようではありませんか
市政も同じ。国の言うなりはやめて市民の命や暮らしが守られる平和で持続可能なまちづくりを進めましょう。

社会保障

- ・「自然増」を1500億円削減
- ・薬価を引き下げて診療報酬を削減
- ・75歳以上医療の窓口2割負担を適年実施
- ・雇用調整助成金の特例措置を段階的に縮小
- ・年金支給水準を実質0.3~0.6%減

軍事費

- ・22年度比約1兆4000億円増の6兆8219億円で過去最大
- ・24年度以降の軍事費に充てる「防衛力強化資金」(仮称)に3兆3806億円を繰り入れ
- ・23年度以降5年間の軍事費総額を43兆円に増額
- ・トマホーク(米国製長距離巡航ミサイル)配備に2113億円
- ・イージス・システム搭載艦建造に2208億円
- ・「軍事ローン」=新規後年度負担も過去最大の7兆6049億円

雇用

- ・「人への投資」と「学び直し」で雇用の流動化を促進
- ・失業等給付の雇用保険料率を23年度から0.2%引き上げ0.8%へ

教育

- ・小中学校の教職員定数2474人減
- ・物価高のもと大学予算は減額・据え置きで実質大幅減

原発エネルギー

- ・22年度補正予算と合わせて1.6兆円を投じ原発推進
- ・米仏との高速炉などの共同開発に向けて新事業を盛り込む

やっぱり納得いかない

拙速なデジタル推進

掛川市がデジタル化推進のためにと商品券事業を紙とデジタルの2本立てにしたことでいろいろな弊害が噴出してします。

購入したけれど使用できなかった方、購入しようとしたがうまく購入できなかった方、デジタルは使えないお店がたくさんあることを知らずに購入した方。

私の行きつけのお店は紙のみOKの店ですが、レジの方に聞いたら使えないデジタルでの支払いをしようとした方に何人も遭遇しているそうです。

これだけデジタルへ誘導した市の責任は重いと思います。24日にはサーバー障害もあったようです。導入を焦るほどにはほころびだらけで混乱し、被害を被り、差別感を感じるのは市民にだと思えます。

◎コールセンター
053-452-5370
9時~17時 年末年始はお休み

◎返金などの相談窓口
市役所3階 産業労働政策課
21-1124